

化学工学会 関東地区学生会
5月 慶應企画

討論会「化学工学学生会の意義について～学生会をより活性化する方法～」

概要

去年度より、毎月の学生企画を通じて、他大学との交流を増やし、情報交換することにより、研究面や就職面において視野を広げることが目的として、関東化学工学学生会が発足された。去年も発足後、数回にわたり企画が行われ、会の基盤を築いてきた。

しかし、先日、学内でアンケートをとったところ、この学生会の意義やメリットがいまいち分からないといった意見が多かった。中には、企画に参加したものの、他大学の学生とどのように交流したらよいのか分からないなどの意見もあり、会に参加している学生にこの学生会発足の意義、利用方法が伝わっていないのではないかと考える。

そこで、今回の企画では、会に参加する学生が、この学生会に対する考えと、このものをグループディスカッションし、それぞれが持つ意見を交わすことにより、この学生会の目的と、このものを再確認し、全員で共有することが目的である。そして、今後、この学生会の存続、今以上の活性化のために生かしたいと考える。

以下の2項目をディスカッションのテーマとして考える。

- ① この学生会に対しての考え方や取り組み方。→企画あるいは各大学の取り組み姿勢において、大学により雰囲気それぞれ異なるが、企画の参加において、会の成功のために、このような雰囲気の違いというのは統一するべきか。また、そのような場合、フランクな方がよいのか、あるいは学術的な方がよいのか。
- ② この学生会の活性化方法。→現在、参加している学生が会についてどのように考え、思っているかを知り、それを生かして、上述のような会の掲げる目的に近づくために今後どのようにして活性化していくべきか。

日時

2006年5月27日 15:00～17:00

場所

慶應義塾大学工学部矢上校舎 日吉駅より徒歩 15 分

懇親会

17:30～19:30 立食形式 参加費 2000 円前後

以上